

1 次の度数分布表をもとにして、ヒストグラムをかけ。

身長 <small>の階級</small> (cm)	度数	相対度数
158 以上 162 未満	2	0.050
162 ~ 166	4	0.100
166 ~ 170	10	0.250
170 ~ 174	16	0.400
174 ~ 178	7	0.175
178 ~ 182	1	0.025
計	40	1.000

2 デジタル時計が X 分を表示しているとする (14:00 ならば $X=0$, 6:45 ならば $X=45$) 。

- (1) X の取りうる値は何通りあるか?
- (2) $P(X=10) = ?$
- (3) $P(0 \leq X \leq 30) = ?$

(1) 60通り (2) $\frac{1}{60}$ (3) $\frac{31}{60}$

3 アナログ時計の長針が指す値を X とする (長針はスムーズに動くものとする) 。

- (1) X の取りうる値は何通りあるか?
- (2) $P(X=10)$ の値はいくつになると思われるか。
- (3) $P(0 \leq X \leq 30) = ?$
- (4) $P(0 \leq X \leq 1) = ?$

(1) ∞ 通り(10.000.....なども考えられるので) (2) 0 (3) $\frac{1}{2}$ (4) $\frac{1}{60}$

2, 3 の X はどちらも確率変数であるが、性質が大きく異なる。

2 の X ような確率変数を (1) 離散) 型確率変数という。取る値がとびとびになっている。

3 の X ような確率変数を (2) 連続) 型確率変数という。連続した値を取る。

4 次の集合はそれぞれ ① 型, ② 型のどちらに分類されるか答えよ。

1. \mathbb{N} 2. \mathbb{Z} 3. \mathbb{Q} 4. \mathbb{R}

① : $\mathbb{N}, \mathbb{Z}, \mathbb{Q}$ ② : \mathbb{R}

5 身の回りで ② 型の変化をするものを考えてみよう。

1. 連続型確率変数について、理解できた。(理解不能) $1 \leq X \leq 5$ (おおむね理解できた) X : 連続型 $X =$
2. これまでの確率統計の学習について $1 \leq X \leq 5$ $X =$
3. その他感想などあれば (本時の授業, これまでの授業etc...)